

調査票A-①(平成27年度連携実績) : 平成27年4月1日～平成28年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
1	都市戦略部 都市戦略課	経済波及効果分析	新規	その他	市の事業に 大学等が協 力	市が自らの判断と責任に基づくまちづくりを行っていくにあたり、各施策の経済波及効果を明確にすべく、専門的知見を有する大学及び地域金融機関と協働で波及効果測定を行う。	平成27年度～	現時点で、成果物の納品には至っていない。		明星大学	
2	都市戦略部 都市戦略課	八王子まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会	新規	その他	検討会委員、 講師派遣等 に協力	「八王子まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定及び同戦略に基づき実施する事業の検証に、市民及び多様な関係団体等の視点から意見を述べる懇談会を設置。同懇談会への委員派遣を大学に依頼。	平成27年6月1日 ～平成29年9月 30日	懇談会で得た知見を活かし、平成27年10月に「八王子まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。戦略策定後も、引き続き事業の検証にあたって意見を求めるべく、懇談会を開催する。		首都大学東京 多摩大学	
3	都市戦略部 都市戦略課	シティプロモーション 動画制作	新規	その他	市の事業に 大学等が協 力	学園都市としての特長を活かし、大学との協働によりプロモーション映像を制作する。	平成27年度～平 成29年度(予定)	限られた予算で質の高い動画作成ができただけでなく、取組の独自性が注目を集め、メディアに取り上げられた。		デジタルハリウッド大学	
4	都市戦略部 広報課	フラッシュモブによる 広報	新規	その他	大学等の研 究事業に市 が協力	平成26年度の学生発表会で杏林大学の学生より本市の新たな広報手段として「フラッシュモブ」が提案され、いちよう祭りのPRを目的に実施した。	平成26年12月～ 27年11月	学生の提案による事業、フラッシュモブという手法など、新たな広報活動を展開することができた。	予算の確保	杏林大学	久野ゼミナール
5	行財政改革部 行政管理課	使用料等受益者負担適正化検討会	新規	その他	検討会委員、 講師派遣等 に協力	使用料等にかかる受益者負担の適正化について、市民等から幅広く意見を聴取する。	平成27年	専門的・学問的な意見を聴取することができるとともに、会議での議論をより深めることができる。	特になし	中央大学 首都大学東京	
6	都市戦略部 自治推進課	中核市推進	終了	その他	市の事業に 大学等が協 力	ポスターや横断幕を作成し、移行を広く市民に周知することで中核市についての関心を高める。	約半年	ポスターを掲示することで、学生にも中核市についての関心を持っていただき、出前講座や地域説明会への参加につなげる。	なし	大学コンソーシアム八王子加 盟大学等	
7	行財政改革部 行政管理課	公共施設マネジメント 推進計画検討会	新規	その他	検討会委員、 講師派遣等 に協力	公共施設の現状、将来予測を踏まえ、施設等の最適な配置や長期的視点での更新、統廃合、長寿化等に関する今後の方向性を示す公共施設マネジメント推進計画を策定するため、市民等から幅広く意見を聴取する。	平成27年	専門的な意見や、実際に公共施設を利用する市民の意見を聴取することで、会議での議論をより深めることができる。	特になし	一橋大学 千葉工業大学	
8	市民活動推進部 協働推進課	出前講座	新規	まちづくり	大学等の研 究事業に市 が協力	創価大学より講師の派遣依頼があり、大学の講義の一環として出前講座「協働のまちをめざして」を行い、市が取り組んでいる地域活動への支援について、八王子市の地域特性を踏まえて説明を行った。	1日	市との協働のパートナーと成り得る大学生に、協働の重要性を説明することができたほか、講義内で双方の意見交換を行ったことで、大学生の地域に関する知識・情報量や関心の度合いなどを感じ取ることができた。	特になし	創価大学	杉山教授

調査票A-①(平成27年度連携実績) : 平成27年4月1日～平成28年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
9	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	八王子まつり ポスターデザイン 主催:八王子まつり 実行委員会		まちづくり	その他	八王子まつり開催PRのため制作する ポスターのデザインの協力	平成27年2月～ 6月	1. まつりへ係わりによるふるさと意識の啓発 2. 若年層の観客動員への期待	年度の切り替わり時期であり、連携のタイミングが難しい。	日本工学院八王子専門学校	デザインカレッジ
10	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 夢美術館	銅版画画家清原啓子 共同研究		芸術・文化	市の事業に 大学等が協力	夢美術館が収蔵する銅版画についての 調査及び保存処置し、展示等での公開 資料とする。	10月～1月	1. 大学教員の研究成果及び大学設備、 教員、学生の技術を活用することができる。 2. 市の出身で連携大学の卒業生の 版画家を研究、紹介することで八王子 の文化を高める。	特になし	多摩美術大学	版画研究室
11	生活安全部 防犯課	ハッピーデーにおける 特殊詐欺被害防止 キャンペーン	新規	その他	市が大学等 にボランティア を依頼	市内大型店舗の集客のある定例特売日 において、特殊詐欺被害防止の注意 喚起を行うためキャンペーンを行なっ た。	3日間	多文化共生推進課に依頼し、市内大 学に通う留学生を募集した。市民に 興味を持っていただくことができ、よ り多くの市民に啓発することができ た。	当日になってからの キャンセルが多い。	拓殖大学 東京純心大学 (参加が多い順)	
12	生活安全部 防災課	災害時ボランティア 活動に関する相互 協力	新規	防災	市が大学等 にボランティア を依頼	大学、消防署、市が連携し、災害時に 大学生のボランティアを活用して災害 対策活動を行うもの。大学は、学生に 向けてボランティアニーズの広報等を行 う。	#####	市内の大学に在学する学生の力を 災害時に活用することにより、災害 時ボランティア委員の確保が図れる。 る。	特になし	東京薬科大学 ※現在大学側と調整を進めて おり、3月10日の最終打ち合わせ にて、締結日を3月末か4月 当初にするかを決定する予 定。	
13	市民部 消費生活センター	大学生向け消費者 被害防止啓発活動	新規	その他	市の事業に 大学等が協力	大学生の消費者被害防止のため、大 学生向けの消費者被害防止リーフレ ット・クリアファイルを杏林大学の学生と 共に作成し、大学コンソーシアム八王 子の加盟校から配布希望のあった大 学に配布する。	11月～12月	事業を通じて大学生への消費者教 育を推進することができた。また、大 学側にも消費者教育の必要性を訴 えることができた。	学生の意見をリーフ レット等の内容に反 映させることに苦慮し た。また、協議日程を 調整することに苦慮し た。	大学コンソーシアム八王子加 盟校のうち東京造形大学、拓 殖大学を除く23校(ただし、う ち8大学については大学生に 手渡しによる配布も実施し た。)	
14	市民部市民生活課	弁護士による無料 法律相談(リーガ ル・クリニック)	新規	その他	大学等の研 究事業に市 が協力	「ローヤリング・クリニック」科目にお ける法律相談実習(リーガル・クリニ ック。市民等を対象にした無料の法律 相談に学生が同席して法務実務を習 得)を実施するにあたり、市が相談場 所の提供や周知等で協力する。	12月	市でも法律相談を実施しているが、 市民の相談を受ける機会が増加し、 市民サービスの向上につながる。 ※27年度は、協力のための文書取 り交わしまで、相談は未実施。	特になし	創価大学法科大学院	
15	福祉部 福祉政策課	八王子市社会福祉 審議会	新規	医療・福祉・ 健康	検討会委員、 講師派遣等 に協力	中核市移行に伴い、本市の社会福祉に 係る施策に関する事項について調査 審議するため、地方自治法第138条の 4第3項の規定に基づき設置する、市 長の附属機関。地域福祉専門分科会・ 民生委員審査専門分科会・高齢者福 祉専門分科会・障害者福祉専門分科会・ 児童福祉専門分科会及びその下部組 織としての部会により組織。	平成27年4月1日 ～	大学教授など学識経験者が委員に 加わることで、学問的に裏付けられ た知識を取り入れることができ、会 議の円滑な進行が出来る。	特になし	下記参照 ※民生委員審査専門分科会 は学識経験者なし	
16	福祉部 福祉政策課	八王子市社会福祉 審議会 地域福祉専門分 科会	新規	医療・福祉・ 健康	検討会委員、 講師派遣等 に協力	福祉施策推進のための基本理念の策 定及び地域福祉に関する重要事項に ついて調査審議する。 (旧:地域福祉推進協議会)	平成27年4月1日 ～	大学教授など学識経験者が委員に 加わることで、学問的に裏付けられ た知識を取り入れることができ、会 議の円滑な進行が出来る。	特になし	法政大学 首都大学東京	

調査票A-①(平成27年度連携実績) : 平成27年4月1日～平成28年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
17	福祉部 高齢者いきいき課	八王子市社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会	新規	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	高齢者計画・介護保険事業計画の策定及びその重点事業・課題に関する事項について調査審議する。また専門的な事項を調査審議するため、高齢者あんしん相談センター運営部会および高齢者施設整備審査部会を設置。	平成27年4月1日～	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行が出来る。	特になし	首都大学東京	
18	福祉部 障害者福祉課	八王子市社会福祉審議会 障害者福祉専門分科会	新規	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	身体障害者の障害程度、指定自立支援医療機関及び医師の指定に関する事項、その他障害者福祉に関する重要事項について調査審議する。	平成27年4月1日～	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行が出来る。	特になし	田園調布学園大学	
19	福祉部 高齢者福祉課	グリーンヒル寺田団地における市・UR・法政大学連携事業	新規	まちづくり	その他	市・独立行政法人都市再生機構・法政大学の3者が連携し、当団地の空店舗を、地域のサロンの役割を担う新しい交流の場として活用するもの	平成28年4月実施予定 ※平成27年度は内容協議と場の整備	高齢者から子どもまで幅広い世代の人々が気軽に集い、交流することで、地域の活性化に繋がるとともに、住民の社会参加を促し、地域の中で顔の見える関係が構築される。	3者の運営の関わり方(費用負担、事務局の運営等)	法政大学	多摩地域交流センター 保井ゼミ
20	福祉部 高齢者福祉課	はじめての介護～介護体験プロジェクト～	新規	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	将来介護の担い手となる現代学生に、介護について考える機会を提供するとともに、大学生の介護に対する当事者意識を醸成し、将来介護に直面しても適切に対応できる準備を整える。	平成27年9月意見交換 平成27年12月大学で講演会	学生に介護の現状と課題について説明することで、介護に対する意識が高まるとともに、自身が高齢者支援でできることについて考えるきっかけとなった。	特になし	創価大学	西浦ゼミ
21	医療保険部 南大沢保健福祉センター	敬老の日特別イベント「ハンドマッサージ教室」	新規	医療・福祉・健康	市の事業に大学等が協力	大学の教員に講師を依頼し、参加者に「ハンドマッサージ」の効果・効能などについて講習を行う、体験型イベント	平成27年9月21日(月・祝)	広報で参加者を募ったが、予想以上の反響があり、早い時期に募集人数を超える応募があった。参加者へのアンケート結果でも9割近くの方から、「良かった」という感想を頂き、今後の館の利用者増に繋がる効果があった。	初回ということもあり、互いに講座のイメージが掴みにくく、準備期間も短かったため、十分な意思疎通ができず、講師に迷惑を掛けてしまった、点があった。次年度は入念な打ち合わせを行いたい。	山野美容芸術短期大学	安藤理美 研究室
22	健康部生活衛生課	動物講演会		その他	検討会委員、講師派遣等に協力	(1) ペットの困りごと解決法 ～問題行動をなくして幸せに暮らすコツ～(2) 高齢動物との暮らし方 ～人と動物が最期まで幸せに暮らすために～という2つのテーマで二人の講師をお招きし、講演会を実施した。	11月8日	動物に関する専門的な知識を有する講師から講演会を通して話を聞くことにより、参加した市民が動物の健康保持及び適正飼育のための管理方法等について専門的な知識を習得することができた。		ヤマザキ学園大学	
23	健康部健康政策課	第2期八王子市食育推進計画		医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	計画策定の推進会議に委員として参加し、専門的な見地から意見をいただく	2年間	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績等を計画に反映することができる		東京家政大学	
24	子ども家庭部 子どものしあわせ課	八王子市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会	新規	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	地方自治法に基づく市長の附属機関として、子ども・子育て支援に関する事項及び児童福祉施設等の認可・確認に関する事項について調査・審議する。	平成27年4月1日～ 3年(任期)	子ども・子育てに関する専門的な知識を審議の中で活用することができる。	特になし	日本大学 明星大学	

調査票A-①(平成27年度連携実績) : 平成27年4月1日～平成28年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
25	子ども家庭部 児童青少年課	チャレンジ☆キッズ	新規	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	児童館の無い地域において、小学校・中学校の校庭・体育館を会場とした、児童館の日常の遊びを提供する事業	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	首都大学東京	首都大学東京 学生教育研究会
26	子ども家庭部 児童青少年課 (由木児童館)	美術大学のおねえさんと絵を描こう	新規	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	普段触れ合う機会のない、児童文学作品集を制作している多摩美術大学の学生と、お絵かき遊びを一緒に行い交流し、小学生には美大生のセンスを感じ取ってもらい、美大生には絵本の対象者の小学生を知ってもらおう。	6月・7月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	多摩美術大学	多摩美術大学 絵本創作研究会
27	子ども家庭部 児童青少年課 (由木児童館)	在宅で乳幼児を育てる高齢初産の母親の育児困難感と子育て支援ニーズインタビュー調査	新規	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	高齢初産婦の支援を検討するため、由木児童館事業「アラフォーママあつまれ」参加者に調査の目的を説明し、協力してもらったことのできるお母さん方に個別にインタビュー調査を行う。	11月～3月	児童館利用の高齢初産婦のニーズを把握し、今後の支援の検討を得ることができた。	特になし	西武文理大学	西武文理大学 看護学部
28	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	出前講座「子育て応援団って何？」	新規	その他	その他	創価大学法学部の授業(フィールドワーク「まちづくり八王子」)の中で、子ども家庭支援センター、子育て応援団BeeネットのPR実施。	1日	子ども家庭支援センターの役割紹介、BeeネットボランティアのPRを行ったことで、実際にBeeネットボランティア登録・活動に繋がった。	特になし	創価大学	法学部
29	産業振興部 観光課	旧滝山荘利活用業務	新規	産業振興	市の事業に大学等が協力	旧滝山荘の利活用に向けて、当該施設的设计書作成、清掃作業、外壁塗装、倉庫作成について研究室に業務を委託した。	平成27年8月25日 から平成28年1月29日まで	旧滝山荘を観光情報発信の場及び地域コミュニティ活動の拠点施設として活用するにあたり、地元にある大学に通う大学生の視点を取り入れたことで地域コミュニティの輪に広がりが出た。また、委託料が業者に依頼するよりも安価で契約ができた。	大学の授業や課題提出等の関係で、学生が集まりにくい時期があるので、作業計画の段階であらかじめ考慮しなければならない。	工学院大学	西森ゼミ
30	産業振興部 観光課	「宿場町八王子」再生まちなか案内情報事業	新規	産業振興	大学等の研究事業に市が協力	宿場町として発展を遂げた八王子の賑わいを現代に再生するため、増加している中国人観光客に向けた情報案内誌を大学生や留学生と作成した。	平成27年4月1日 から平成28年3月31日まで	八王子の食や見どころを紹介する案内情報誌などを作成するにあたり、中国人観光客が好む情報や正確な表記など大学生や留学生の視点で行うことで観光客への「おもてなし」につながった。	留学による担当学生の変更があり、後任の学生も責任を持って一環した取り組みを行ったが、同担当者での取組が望ましい。	杏林大学	久野ゼミ
31	産業振興部 観光課	「学生が考えた駅からハイキング」事業	新規	産業振興	その他	JRの事業である「学生が考えた駅からハイキング」事業に大学生が八王子のお勧めのハイキングルートを提案し、八王子への観光客誘致を目指す。	平成27年4月1日 から平成28年3月31日まで	学生が八王子のお勧めハイキングルートを作成するにあたり、学生独自の視点や大学生活の中で見つけたスポットを取り入れることで、新たな八王子の魅力発信につなげる。	大学の授業や課題提出等の関係で、学生が集まりにくい時期があるので、作業計画の段階であらかじめ考慮しなければならない。	杏林大学	志村ゼミ
32	都市緑化フェア推進室	全国都市緑化はちおうじフェア開催決定ポスターデザインの作成	新規	環境	市の事業に大学等が協力	全国都市緑化はちおうじフェア開催決定ポスターについて、東京造形大学(山際教授)と連携し、学生デザインのポスターを作成した。	平成27年5月依頼 平成27年8月から 掲示開始	フェアの構想及び基本計画でも示す、学術連携を図ることができた。	なし	東京造形学	山際康之教授

調査票A-①(平成27年度連携実績) : 平成27年4月1日～平成28年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
33	資源循環部 ごみ減量対策課	大学リユース市	新規	環境	大学等の研究事業に市が協力	卒業する学生が不用となる再生可能品の家具等を無償で新入生に提供するイベントの開催。 ※平成25年度より中央大学のゼミで実施している	準備を含め10ヶ月程度 (イベントの開催は3月末)	①ごみ減量効果 粗大ごみとして排出される品物をリユースできる ②学内コミュニティの活性化 リユース市を通じて学生同士の交流が活性化 ③大学の魅力向上 入学を希望している新入生に対してのPR効果	・学内で主体となる団体(ゼミや実行委員会など)を組織する必要がある	中央大学	FLP環境プログラム・佐々木創ゼミ
34	都市計画部 交通企画課	「(仮称)八王子市自転車利用環境整備計画」策定にむけた懇談会	新規	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	「(仮称)八王子市自転車利用環境整備計画」の策定にあたり、市の検討内容への助言を得る。	1年	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	特になし	首都大学東京	都市環境学部 都市基盤環境コース 小根山教授
35	都市計画部 交通企画課	自転車利用アンケート調査	新規	まちづくり	市の事業に大学等が協力	「(仮称)八王子市自転車利用環境整備計画」の策定にあたり、大学への通学の自転車利用実態を把握するため、自転車通学者数や安全教育の実態を調査した。	1回	市内大学の自転車利用実態を把握し、計画策定の基礎資料とする。	特になし	大学コンソーシアム八王子加盟の全大学	
36	まちなみ整備部 住宅政策課	住宅マスタープランの改定	新規	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	住宅マスタープラン改定にあたり、住宅施策に係る各分野の代表等から意見聴取する。	1年	専門的な意見をいただくことが可能である。	特になし	工学院大学 首都大学東京	建築学部まちづくり学科 村上准教授 都市教養学部 都市政策コース 朝日准教授
37	道路交通部 交通事業課	放置自転車対策	新規	環境	市が大学等にボランティアを依頼	東京都及び八王子市主催の駅前放置自転車クリーンキャンペーンにおいて、南大沢駅周辺で啓発ティッシュの配布	1日	1、意欲ある若者が啓発品を配布することで、市民に対する啓発効果の増進に繋がる。 2、イベント時に学生と協力して啓発を行うことで、キャンペーンのイメージをポップにできる。	特になし	首都大学東京	管理部 学長室
38	道路交通部 交通事業課	交通安全教育	新規	教育	市の事業に大学等が協力	大学での学生の集まりの場(新入生ガイダンス)などで自転車の交通ルール・マナーの啓発を行う。	1日	大学生になる新1年生に自転車の交通ルールを啓発することによって、これからの通学等で使う自転車のルール・マナーが向上し、市内の交通事故が減少する。	大学側とのスケジュール調整(長時間の講話が出来ないなど)	工学院大学	学生支援部 学生支援課
39	選挙管理委員会事務局	投票啓発プロモーションビデオ制作(八王子市長選挙)	新規	その他	市の事業に大学等が協力	八王子市長選挙の投票率向上を目的に大学がプロモーションビデオを制作し、YouTube、駅前ビジョン、ケーブルテレビで放映した。	選挙前	専門学校生が若者の感性でビデオを制作したことにより、若者世代の投票率向上につながった。	企画内容が専門学校主導となった。	日本工学院八王子専門学校	放送・映画科
40	選挙管理委員会事務局	中・高校生向け選挙啓発チラシの作成協力	新規	その他	市の事業に大学等が協力	平成28年6月から選挙権年齢が18歳に引き下げられることに伴い、中・高校生向け選挙啓発チラシの作成に大学が協力した。	通年	大学生が若者の感性でチラシを作成協力することにより、中・高校生にも受け入れやすい内容に仕上がった。 (チラシは28年度から配布予定)	特になし	杏林大学	木暮ゼミ

調査票A-①(平成27年度連携実績) : 平成27年4月1日～平成28年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
41	選挙管理委員会事務局	学生天国での模擬投票・アンケート調査	新規	その他	大学等の研究事業に市が協力	毎年5月に開催される学生天国(合同学園祭)において、模擬投票及びアンケート調査を行い、政治意識の向上を図る。	5月	若者が集う学生イベントで模擬選挙・選挙啓発を行うことで、政治意識の向上につなげることができる。	特になし	杏林大学	木暮ゼミ
42	選挙管理委員会事務局	学園都市大学(いちよう塾)公開講座の実施	新規	その他	大学等の研究事業に市が協力	学園都市大学(いちよう塾)公開講座を28年度後期に実施する。	下期	学園都市大学の講座として実施することにより、広く市民に周知することができる。	若者世代の受講率がやや少ない。	杏林大学	木暮ゼミ
43	生涯学習スポーツ部 学習支援課(生涯学習センター南大沢分館)	市民自由講座	新規	生涯学習	市の事業に大学等が協力	市民自由講座「八王子も戦場だった～70年目の証言」 中央大学松野良一ゼミの協力を得て、八王子空襲などの貴重な資料映像を上映・解説	8月8日	講座には小中学生やその保護者の参加も見られ、「様々な世代で戦禍の記憶を共有する」、「地域の大学や市民団体の学習成果を生かす」という、講座実施の目的を達成することができた。	特になし	中央大学	松野良一ゼミ
44	生涯学習スポーツ部 学習支援課(生涯学習センター南大沢分館)	青少年講座	新規	生涯学習	市の事業に大学等が協力	青少年講座「子ども伝統芸能教室～落語を楽しもう」 子どもたちに日本の伝統芸能の一つである落語の歴史や成り立ちの解説と古典落語の実演を行う	3月21日	子ども達に落語の持つ言語表現の豊かさや伝統芸能に身近に親しむきっかけを提供し、また学園都市八王子として、近隣大学の日頃の活動の成果を地域に還元することができた。	特になし	中央大学	中央大学落語研究会(サークル)
45	生涯学習スポーツ部文化財課	eラーニングによる学習教材「絹の道」を作成	新規	生涯学習	大学等の研究事業に市が協力	絹の道の歴史を題材に教育を目的としたデジタルコンテンツを作成し、多様な学習環境を整える。 完成した学習教材を利用し、来館者に絹の道をeラーニングで紹介する。	平成27年11月28日 平成28年2月28日	以前はパソコンで実施していたものを、タブレット端末に替えており、若い世代に浸透しているIT機器を利用することにより、その世代にも郷土の歴史を知ってもらいきっかけとなり得るものである。	特になし	東京工科大学	メディア学部 松永ゼミ
46	生涯学習スポーツ部スポーツ振興課	ヘルシーウォーキング	新規	生涯学習	市の事業に大学等が協力	市内の自然及び名所・旧跡を楽しみながら約10kmのコースを歩くもので、昭和62年度から毎年、市民との協働により「市民健康の日」に実施している。	5月17日	協力により、市内の自然を楽しみながら歩くことができるコースとなった。魅力あるコースの設定により、市民の体力向上・健康維持増進への意識を高めた。大学との連携により、地域の活性化を図った。	なし	法政大学、拓殖大学	
47	生涯学習スポーツ部スポーツ振興課	ジュニア育成事業バドミントン教室	新規	生涯学習	市の事業に大学等が協力	スポーツ関係団体及び大学と連携し、地域におけるジュニアスポーツの普及と、ジュニア選手の発掘及び育成を推進することを目的とするバドミントン教室を春・秋に開催した。	7月26日 11月29日	ジュニア選手の発掘及び育成を推進。法政大学バドミントン部コーチ及びアシスタントコーチを招き、レベルの高いデモンストレーションを見て学ぶことでジュニア世代の競技継続及びレベルアップの動機づけを促す。	なし	法政大学	